

土木学会功績賞を受賞して——久——保——田——豊——



大正3年東京帝国大学土木工学科卒業後内務省に入り、大正9年まで内務技師、朝鮮水電に入り朝鮮各地の水力開発に従事、21年日本工営（株）を設立し社長に就任、現在に至る。朝日文化賞、藍綬褒賞、勲二等瑞宝賞などのほか、東南アジア各国政府より多くの賞をうく。80才。

このたび、はからずも土木学会功績賞を受賞しました。思いもかけなかったことです。これまで、いろいろな仕事をやったことで、外国を含めて多くの勲章や賞を受けたことはありますが、私が畢生の仕事とっており、また私の専門とと思っている土木工学の賞を受けることは、私にとり感銘にたえないことであります。

私は土木専攻の大学を出てから56年になります。その間、ずっと専門の土木技術、土木技術を主とした事業、さては国造りを理念とした事業の成立——これは少しオーバーかも知れませんが、私はそう信じています——などに力を尽し、ことに最近の職業であるコンサルタントを土台とした私の仕事は、私にとり日に日に感激を持って取り組んでおります。思えば、56年も同じfieldの職責が持てるということは、私は仕合わせものです。今後もまだまだ、5年～10年あるいはそれ以上でも命に恵まれて、やって行きたいと念願しております。

なお、この際一言申し上げたいのは、土木学会の成立は私が学校を出て現場で働かしてもらった第1年目にできたもので、その頃またその後も会誌をむさぼるように読ませてもらいました。今日まで土木学会が達成した数々の業績を思い、将来の発展を祈るものであります。

土木学会功績賞を受賞して——岡——部——三——郎——

わが思い出の土木事業



大正5年東京帝国大学土木工学科卒業後内務省に入り、内務技師、東京市橋梁課長をへて昭和4年尼崎築港技師長、19年社長に就任。この間東京帝大講師、東京湾埋立会社（現・東亜港湾工業）専務をへて21年社長となり現在に至る。藍綬褒賞、勲三等旭日中綬賞などをうく。78才。

私のような業界人が全く予想もしなかった驚きは、先年の土木学会長に選ばれたときと今回の受賞とであり、この身に余る光栄に対し、土木学会の各位に深く感謝の意を表します。

私はゴルフも碁、将棋など何の趣味もありませんが、つねづね日本の未来の土木事業に関する構想を練ることが趣味とでも申せましょう。一高時代から、ひとときもスライドルールをポケットから離さなかったのも構想を現実から脱線させないためであります。

私が功績賞を受けたおもな点は、恐らく直接関係した港湾工事と1億 m^2 の臨海工業地帯の造成によって日本の産業経済に寄与した点にあると思います。

私の立案施行担当した工事は沢山ありますが、なかでも昭和14年千葉県発展案を当時の立田知事から諮問され、海面の埋立以外に方策のないことを力説し、知事室において海図を広げ検見川から富津までの現在の京葉工業地帯の計画を立案したところ、知事が非常に喜ばれ、ただちに出願せよとのことで、昭和15年から日立航空会社90万坪（現川崎製鉄所）の埋立を千葉市営形式で着工し、その大半を完成し、全工事に一歩ふみ出したことであります。その後30年で江戸英雄氏その他の協力の結果、今日の京葉工業地帯の盛況を見ることはまことに感慨無量であります。

なお、関東大震災によって壊滅した横浜港の岸壁15パースを1ヵ年間に完成した主役を果たしたことで、その体験を生かし地震土圧論を発表し、これが確認のため松尾春雄さんの協力を得て土圧実験をしました。

今から40年前に大阪市の顧問として、沈埋式の安治川の河底自動車トンネルを計画し、堀威夫さんが施工を担当し戦前に完成致しました。さらに、昭和7年頃大阪付近の地盤低下の原因が地下水の低下による事実を確かめ大阪市長に答申しました。

昭和5年に桃山時代の古い文献の中から軟質地盤に井戸を掘り、中に砂をつめて城の石垣の基礎とした記録を発見し、尼崎港の護岸や防波堤の地盤改良工法として多数のサンドパイルを利用して成功し、今日のサンドパイルの基を開いたことを誇りとしています。